

令和4年度 南檜山地域・職域連携推進連絡会の振り返り

1 南檜山地域・職域連携推進連絡会について

設置目的

住民の健康づくりを推進するため、地域保健と職域保健が連携を図り、健康情報の共有や保健事業の共同実施、社会資源の相互活用、生涯を通じた継続的な保健サービスの提供体制の整備を図ることを目的に平成18年に設置。

(資料2 - 3のとおり)

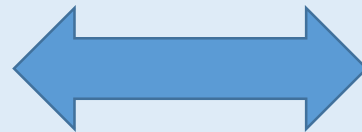
地域・職域連携推進連絡会

地域

【取組（例）】

- 特定健診・保健指導
- 健康増進法に基づく健（検）診（がん検診等）
- 健康教育・保健指導 等

連携



課題・取組の
共有

職域

【取組（例）】

- 特定健診・保健指導
- 労働安全衛生法に基づく定期健診
- ストレスチェック
- 両立支援 等



（１）効果的・効率的な保健事業の実施

- ・地域全体の健康課題をより明確に把握することが出来る。
- ・保健サービスのアプローチルートの拡大につながり、対象者が保健サービスにアクセスしやすくなる。

（２）これまで支援が不十分だった層への対応

- ・被扶養者等既存の制度では対応が十分ではない層へのアプローチが可能となる。
- ・小規模事業場等へのアプローチが可能となり、労働者の健康保持増進が図られる。

2 疾病予防対策専門部会における位置づけ

南檜山圏域における重点的な取組について

(1) 部会の取組方針

「10年後、20年後を見据えた健康づくり」
～若い世代（小中学生～親世代）、働く世代（40代）へのアプローチ～

(2) 目的・課題・目標

①目的

各町、医療機関、関係団体、保健所等の相互の連携体制強化により、若い世代（小・中学生～親世代）及び働く世代（～40代）に対する生活習慣改善（特に減塩）の普及啓発を進め、生活習慣病（糖尿病、高血圧）の発症予防・重症化予防を図る。

【当部会の目的・課題・目標（令和3年度～令和5年度）】

目的

各町、医療機関、関係団体、保健所等の相互の連携体制強化（情報共有、検討、実施）により、若い世代（小・中学生～親世代）及び働く世代（～40代）に対する生活習慣改善（特に減塩）の重要性について普及啓発を進め、生活習慣病（糖尿病、高血圧）の発症予防・重症化予防を図る。

課題

【課題1】～健康課題～

- 糖尿病リスク因子であるHbA1cの健診有所見者率が全道より高い。
- 収縮期血圧の健診有所見者率が全道より高い。
- 腹囲、BMIの健診有所見者率が全道より高い。小・中学生においても肥満傾向がみられる。

【課題2】～連携体制～

- 若い世代（小・中学生～親世代）及び働く世代（～40代）の生活習慣病予防を図るため、各関係機関（町、医療機関、教育、職域、保健所）の連携強化（情報共有、検討、実施）が必要。
- 糖尿病（重症化）リスクがある者に対する支援において、更なる連携強化（南檜山糖尿病重症化予防プロジェクトの再周知、活用促進、指導のブラッシュアップ）が必要。

目標

【目標1】

- 職域団体、各町、医療機関、関係団体、保健所が連携を強化（情報共有、課題の明確化、取組の検討、実施）し、働く世代（～40代）に対する生活習慣病対策（糖尿病、高血圧〈減塩〉）に向けた取組の推進を図る。

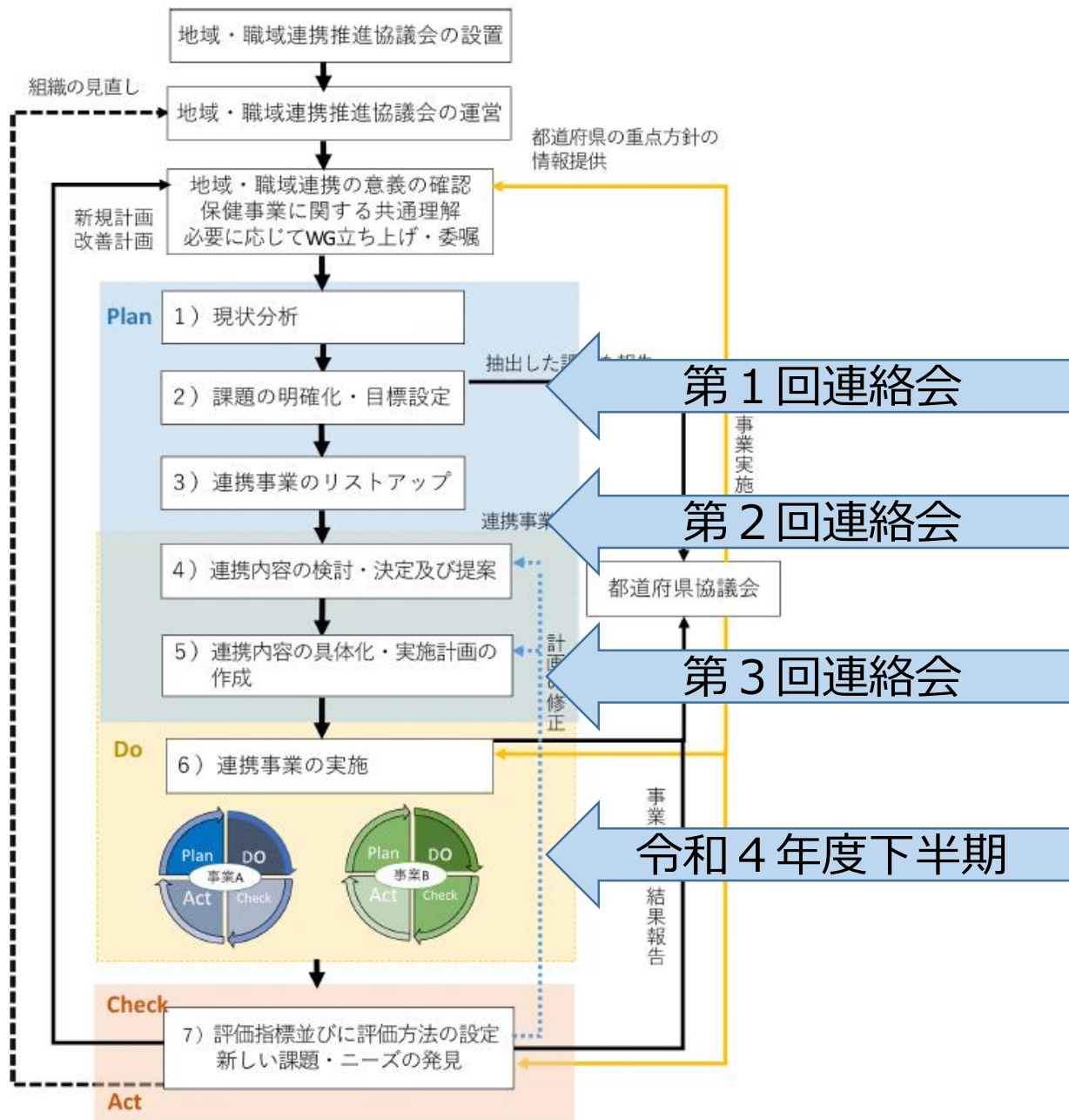
【目標2】

- 教育局、教育委員会、学校（養護教諭、栄養教諭）、各町、保健所が連携を強化（情報共有、課題の明確化、検討、実施）し、生活習慣改善（減塩）に向けた取組を一体的に推進することで、小・中学生～親世代に対する減塩の意識付け・行動変容へアプローチする。

【目標3】

- 糖尿病（重症化）リスク者を適切なタイミングで拾い上げ、必要な支援を実施することができる。
- 治療効果を高めるため、減塩指導を強化（対象者の食塩摂取状況の確認、指導媒体の作成等）する。

3 令和4年度 南檜山地域・職域連携推進連絡会の実績



令和4年度実績

時期	内容
第1回連絡会 (5月16日開催)	生活習慣病対策について情報共有、 課題の把握
第2回連絡会 (9月14日開催)	連携事業について 検討
第3回連絡会 (3月6日開催)	連携事業について 最終検討
連携事業の実施 (下半期)	連携事業の実施 (健診ガイドの作成)

議題

(1) 事務局から説明

- ・南檜山地域・職域連携推進連絡会について
- ・令和3年度「南檜山地域・職域連携推進連絡会に関するアンケート調査」の結果について
- ・地域・職域連携推進事業の進め方について

(2) 意見交換

- ・地域・職域における生活習慣病対策（糖尿病、高血圧〈減塩〉）の取組状況及び効果と課題について

意見交換から・・・

- ・職域に対するアプローチは行っているが、健康保険の壁が大きく、国保加入者ばかりのアプローチとなってしまう。
- ・地域の健康課題として、高血圧、糖尿病があがっており、職域の健診受診率を向上させたいが、現状の連携状況では向上させていくのは難しいと感じている。
- ・職域側の健診状況について把握できず、介入することが難しい。
- ・高血圧やがんのため勤務中に体調を悪くしている職員が多くいると聞いている。
- ・健康診断だけを受ければ良いと考え、精密検査を受けない人がいる。
- ・檜山地域の健診結果から高血圧やBMIが高い方が多いと感じる。減塩対策を行うことが重要である。

- 議題
- (1) 事務局から説明
 - ・第1回南檜山地域・職域連携推進連絡会の振り返り
 - ・今年度実施する事業（案）について
 - (2) グループワーク
 - ・事務局から示した事業（案）について、グループワーク方式により内容を検討

地域

- ・地域全体の健診受診率を上げたい
- ・職域側にもアプローチをしたい
- ・職域側の課題の未把握

職域

- ・従業員は健康でいてもらいたい
- ・職員や事業主が健康意識を持つ
- ・健康診断、精密検査をしっかり受ける

横のつながりの強化

働く世代の生活習慣病の発症予防・重症化予防を図る

まずは「やれること」から取り組む

南檜山地域の健(検)診情報や資源を案内するパンフレットを作成

6 令和4年度の連携事業

表紙 (案)

目的

- ・南檜山管内で働く人が健診情報にアクセスしやすくなる。
- ・働く世代の健診受診率向上に繋げ、生活習慣病の発症予防・重症化予防を図る。

取組内容

南檜山地域の健(検)診情報、相談機関に関する資源をまとめたパンフレットを作成し、連絡会構成団体が所管する事業所へ配布。

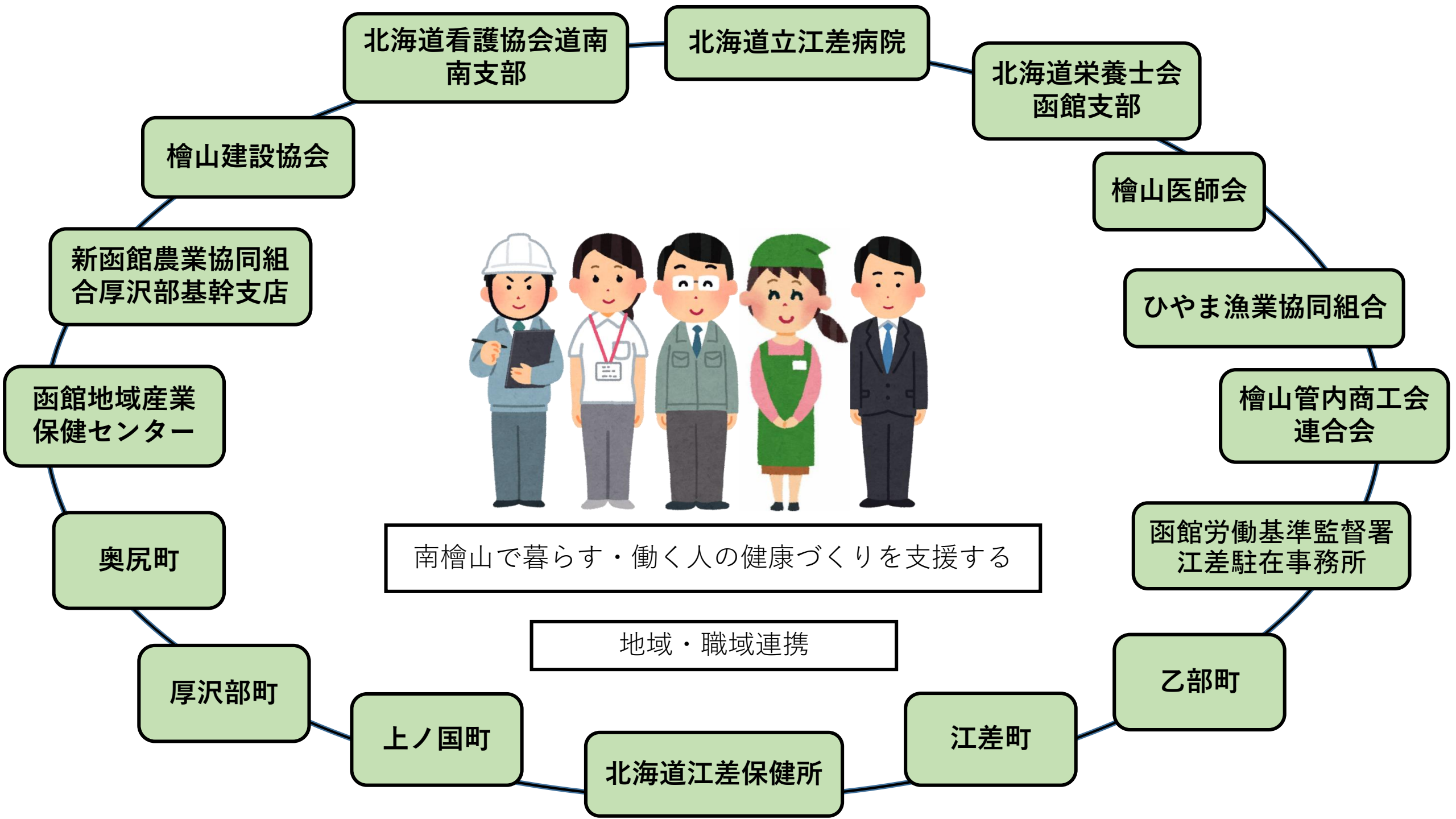
コンセプト

「南檜山で働く人とそのご家族のための健診ガイド」

スケジュール



令和4年		令和5年		
時期	11月	1月	2月	3月
動き	健診ページの作成 各町の担当ページについて作成	第3回連絡会 中身、活用方法について検討	完成 連絡会で意見が出た部分を修正し完成	配布 事務局及び構成団体を通して管内各事業所に配布



令和5年度の方向性（意見交換）

1 健診を受けていない層へのアプローチ（小規模事業者、被扶養者等）

- ・「健診ガイド」の活用状況の確認、今後の情報更新や媒体変更等についての継続検討

2 圏域特有の健康課題対策（高血圧、糖尿病）

- ・ 出前講座、セミナー等 →対象はだれか？内容は？講師は？
- ・ 普及啓発媒体の作成 →どんな媒体？だれのため？内容は？

3 メンタルヘルス対策

- ・ コロナ禍を経て、メンタルヘルスの状況の変化はあったか？
- ・ 各職場における対策の見直しの必要性はないか？

4 地域側と職域側の課題共有

- ・ 連絡会を継続的に開催し、情報交換の中で課題を共有し解決策を探る。

令和5年度スケジュール

1 南檜山地域・職域連携推進連絡会の開催

- 第1回連絡会開催（7月頃予定）

※2回目以降は、連携事業の内容に応じて開催時期、回数を決める。

2 連携事業の実施

- 今回のご意見を参考に内容を検討し、実施していく。